

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2013-31938(P2013-31938A)

【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2011-168369(P2011-168369)

【国際特許分類】

**B 2 9 C 55/20 (2006.01)**

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 55/20

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月21日(2013.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シート状物の端部を把持する複数の掴み装置を前記シート状物の両側端に具備した無端チェーン付案内ホルダの対を設け、該無端チェーン付案内ホルダは、出口側のスプロケットにより駆動され、入口側スプロケットから送り出されシート状物を前記掴み装置で把持して進行方向に対して末広がり状に配置された案内用ガイドレールに案内されてシート状物を延伸させた後にシート状物を外し、前記出口側スプロケットを介して前記入口側スプロケットに戻るよう構成されたシート状物の延伸機において、

前記各ガイドレールを固定する固定ベッドと可動ベッドを設け、

前記固定ベッドと可動ベッドは回動可能にピン結合され、

前記可動ベッドの回動に伴って前記ガイドレールが伸縮かつ屈曲可能なように、前記ガイドレールの前記ピン結合位置に複数本の垂直なスリットを有する屈曲部を設けると共に、前記屈曲部の両側を隙間を介して前記ガイドレールに接続したことを特徴とするシート状物の延伸機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシート状物の延伸機において、

前記屈曲部として、複数本の垂直なスリットを有するレールジョイントを前記ガイドレールに介在させたことを特徴とするシート状物の延伸機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のシート状物の延伸機において、

前記各ガイドレールは、前記各スリットを避けた位置で前記固定ベッドと可動ベッドに固定されたことを特徴とするシート状物の延伸機。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のシート状物の延伸機において、

前記スリットの両側の隙間はガイドレールの長手方向に垂直に形成されていることを特徴とするシート状物の延伸機。